

I -1 計画地の特性

③吉城川の眺め



写真：魅力資源 吉城川の眺め(左5月 右12月)

④修景池の眺め



写真：魅力資源 修景池の眺め(左：連絡通路から、中：池の北園路から、右：本館北東から)

⑤太鼓橋から本館への眺め



写真：魅力資源 太鼓橋から本館への眺め

I - 1 計画地の特性

⑥尾根から奈良盆地への眺望

- ・尾根部から奈良盆地に向けての眺望は、奈良盆地が広がる眺望の中に本館大屋根、五重塔、生駒山等が眺められる。奈良盆地に向けた眺望が良好な所は少ないことから、積極的に活用すべきである。
- ・現在尾根部から奈良盆地に向けての眺望は、低木及び高木が生長し大きく阻害されている。樹木の剪定や配植の見直しにより、良好な眺望が確保される。



写真: 尾根部園路上からの眺望



写真: 尾根部休憩所南東の植栽地内からの眺望

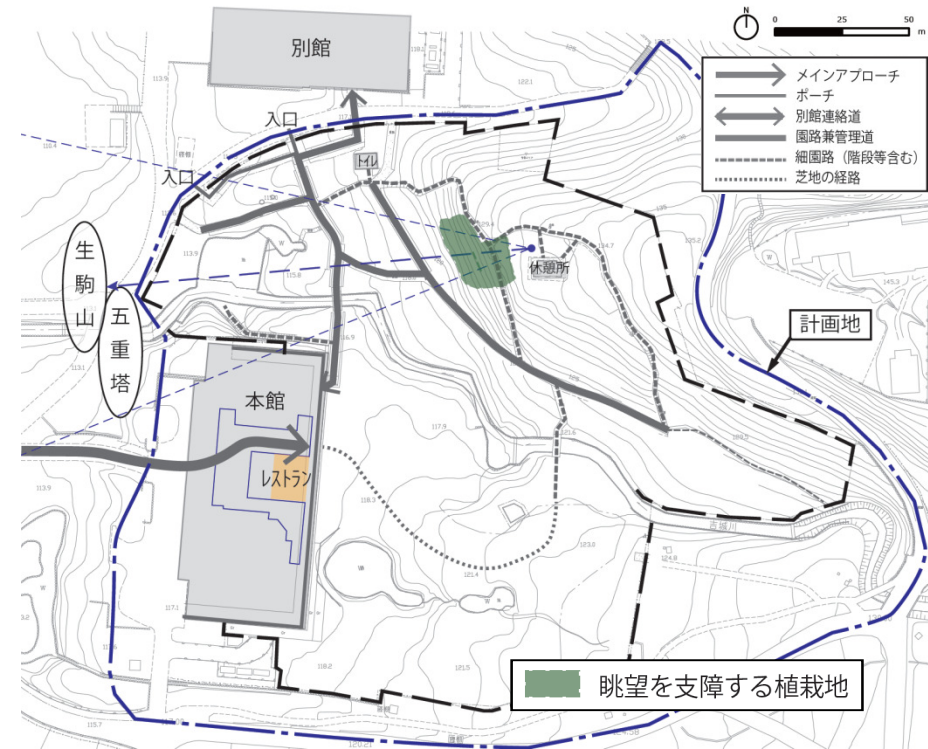


図: 魅力資源 尾根から奈良盆地への眺望と課題

I - 1 計画地の特性

【参考】本館ポーチから御蓋山への眺望

- ・本館ポーチから御蓋山への眺望は、樹木が生い茂っているために御蓋山がほとんど隠れているが、ポーチの南より部分には木の間越しに御蓋山が見られるところがある。
- ・御蓋山から春日大社境内一帯は深い樹林に覆われており、奈良公園内では御蓋山への眺望は正面参道の一部に限られている。このことを踏まえると「麓」から御蓋山への眺望は、意図的に見えるようにするものではなく、場所によっては木の間越しに見えるという現状が適切と思われる。

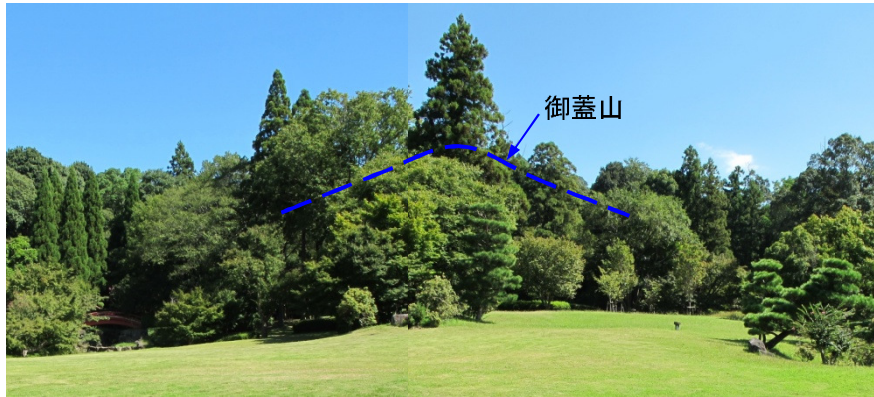


写真: 本館ポーチから御蓋山に向けての眺望

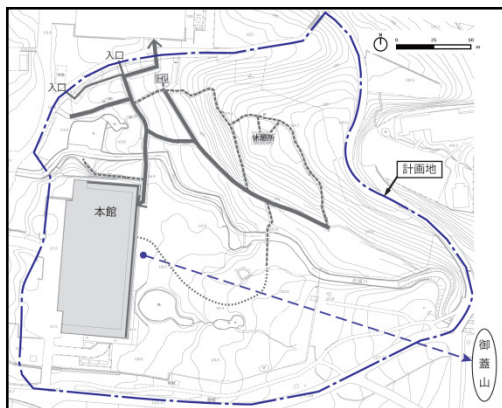
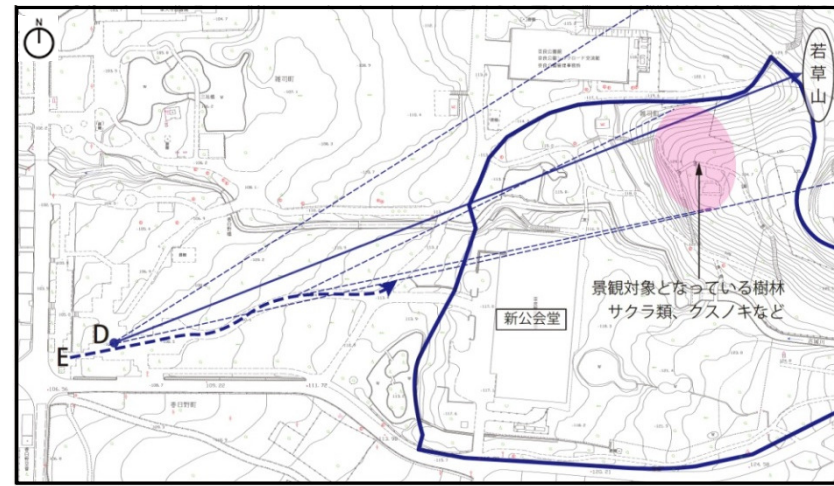


図: 本館ポーチから御蓋山への方角

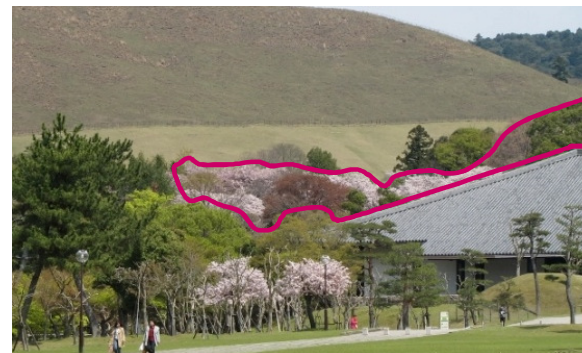
【参考】周辺からの庭園に向けての眺望

尾根部のサクラ等は、周辺部からの眺望の景観対象となっている。特に、浮雲園地から若草山に向けての眺望景観は、奈良公園でも特に重要な眺望景観として位置づけられており、尾根部のサクラ等は景観対象として重要な役割を担っている。



周辺地からの眺望の景観対象

- D ● → 重要な眺望景観
- E - - - → 眺望が楽しめる動線



赤枠内: 庭園内尾根部のサクラ類やクスノキ H26年4月 地点D付近から